

小集会プログラム

2日目 3月28日(木) 17時45分～19時15分

3日目 3月29日(金) 15時30分～17時00分

2日目 3月28日(木)

W01 A会場 (中講堂I)

昆虫病理で IPM の弱点克服に挑戦 -アザミウマ防除用メタリジウム剤の開発と実用化-

世話人：小池正徳・増田俊雄・国見裕久

W011 清水 進 (九大院・農)

「*Metarhizium* 属糸状菌の研究動向と SMZ-2000 株の性状」

W012 ○山中 聡¹・奥野昌平¹・桃下光敏¹・清水 進² (¹アリスタライフサイエンス(株),
²九大院・農)

「新規微生物殺虫剤ALB-0663 (メタリジウム粒剤) の開発とその防除効果」

W013 ○柴尾 学¹・山中 聡²・田中 寛¹ (¹大阪環農水研, ²アリスタライフサイエンス(株))

「メタリジウム粒剤処理による施設ナス・キュウリの微小害虫の防除」

W02 B会場 (中講堂II)

第43回ハダニ談話会

世話人：岸本英成・後藤哲雄

W021 齋藤 裕 (北大院・農学院動物生態)

「ハダニ類の社会」

W03 C会場 (31講義室)

昆虫免疫夜話

世話人：芳山三喜雄・古川誠一

- W031 朝野維起（首都大・理工学）
「生体防御」における外骨格の役割」
- W032 松本均（佐賀大・農）
「昆虫サイトカインと細胞性免疫」
- W033 ○横井翔・小山裕明・水口智江可・田中利治・三浦健（名大院・生命農学）
「貯穀害虫コクヌストモドキ (*Tribolium castaneum*) の抗微生物ペプチド (AMP)
遺伝子発現誘導に関する研究」
- W034 土原和子（同志社大・ニューロセンシング・バイオナビゲーション研究センター）
「線虫における化学受容体の網羅的解析と抗菌ペプチドの同定」

W04 D会場 (41講義室)

産官学連携型実用技術開発における害虫管理研究の展開と課題

～ 侵入害虫チャトゲコナジラミと土壌性ゲリラ害虫ハウレンソウケナガコナダニを例として ～

世話人：天野 洋

- W041 天野 洋（京大院・農・生態情報）
「産官学連携型実用技術開発における害虫管理研究の展開と課題 ～ 侵入害虫チャトゲコナジラミと土壌性ゲリラ害虫ハウレンソウケナガコナダニを例として～」
- W042 笠井 敦（京大院・農・生態情報）
「チャトゲコナジラミとその天敵シルベストリコバチの研究からみた侵入害虫対策の課題と展望」
- W043 佐藤安志（農研機構 野茶研・金谷）
「チャの侵入新害虫チャトゲコナジラミの対策技術と研究推進戦略」
- W044 ○竹中 勲¹・安川人央¹・國本佳範¹・神川 諭²・松村美小夜³・齊藤美樹⁴
(¹奈良農総セ²奈良高振セ³奈良中部農振⁴道総研中央農試)
「ハウレンソウケナガコナダニ防除体系確立に向けた取り組み」
- W045 ○本田善之¹・中田恵久²・森 直樹³・中嶋祐二³
(¹山口農総技セ²サンケイ化学(株)³京大院・農)
「ハウレンソウケナガコナダニ対策の新たなシーズと防除への展望」

W05 E会場 (42講義室)

もっと薬剤抵抗性マネジメントを考えよう2

世話人：園田昌司・山本敦司・水口智江可

- W051 羽田 厚 (岩手農研セ)
「岩手県内のリンゴ園地におけるナミハダニの発生状況および防除の実態と、殺ダニ剤に対する感受性のモニタリング」
- W052 刑部正博 (京大院農・生態情報)
「連鎖およびゲノム解析から薬剤抵抗性機構へのアプローチ」
- W053 野田博明 (生物研)
「殺虫剤抵抗性の機構と抵抗性マネージメント」

W06 F会場 (51講義室)

果樹の難防除害虫研究会

- クビアカスカシバの被害はなぜ増えた？

世話人：新井朋徳・外山晶敏・望月文昭

- W061 ○中 秀司¹・有田 豊²・安藤 哲³(¹鳥取大・農²名城大・農³農工大院・BASE)
「スカシバガ科害虫の生態と特徴 ―急増するスカシバ類―」
- W062 伊藤慎一¹・金田紀子² (¹山形園試、²西置賜農業技術普及課)
「山形県におけるブドウのクビアカスカシバ *Glossosiphonia romanovi* (Leech) の発生時期と薬剤の防除効果」
- W063 高馬浩寿 (岡山農総セ)
「カルタップ水溶剤の散布回数及びブドウ樹の過去の被害状況がクビアカスカシバ幼虫の防除効果に及ぼす影響」
- W064 ○小松美千代・大隅専一 (秋田果樹試)
「秋田県のブドウにおけるクビアカスカシバ幼虫および成虫の発生生態」
- W065 ○内田一秀・村上芳照・綿打享子・功刀幸博 (山梨果試)
「山梨県におけるクビアカスカシバの発生状況と生態に関する観察」

W07 G会場 (52講義室)

昆虫のトランスポーター

世話人：菊田真吾・木内隆史

- W071 黄川田隆洋 (生物研・乾燥耐性)
「トランスポーター研究事始め～TRET1 単離までの道程～」
- W072 ○木内隆史¹・王凌燕¹・伴野豊²・勝間進¹・嶋田透¹ (¹東大・農 ²九大・農)
「尿酸代謝異常カイコ突然変異体の原因遺伝子の探索から同定された尿酸トランスポーター」
- W073 ○渥美省吾^{1,4}・宮本和久¹・山本公子¹・生川潤子¹・河合佐和子¹・瀬筒秀樹¹・小林功¹・内野恵朗¹・田村俊樹¹・三田和英¹・門野敬子¹・和田早苗¹・神田康三²・Marian R. Goldsmith³・野田博明¹
(¹生物研・²佐賀大・農・³ロードアイランド大・⁴石原産業株)
「カイコ ABC トランスポーター遺伝子の 1 アミノ酸変異が Bt Cry1Ab 毒素への抵抗性を引き起こす」
- W074 ○田中詩穂¹・宮本和久²・野田博明²・佐藤令一¹(¹東京農工大・BASE, ²生物研)
「Cry 毒素受容体として機能するカイコガ ABC transporter C2」
- W075 ○菊田真吾^{1,2}・小林徹也¹・黄川田隆洋¹・中島信彦^{1,2}・野田博明^{1,2}
(¹生物研 ²東大院・新領域)
「イネ吸汁応答性トビイロウンカグルコーストランスポーターの同定」

W08 H会場 (53講義室)

生物間相互作用の情報科学～その10

捕食 - 被食系をいかにして生き抜くか？ - 攻撃と防御の戦略 -

世話人：大村 尚・森 直樹・今野浩太郎・小野正人

- W081 ○岡西宏之¹・藤崎憲治² (¹株式会社シー・アイ・シー ²岡山県赤磐市)
「ヤニサシガメにおけるヤニ塗りつけ行動の適応的意義と進化」
- W082 ○鶴井香織¹・本間淳²・姫野孝彰³・西田隆義⁴ (¹弘前大・男女共同参 ²University of Jyväskylä³京大院・農・昆虫生態 ⁴滋賀県大環境生態)
「敵は捕食者のみに非ず-ハラヒシバツタの分断色における温度適応と性選択-」

W09 I会場 (61講義室)

同定・識別法アラカルトーDNA～形態を利用したこんな方法はいかがですか？

世話人：三浦一芸

- W091 ○前藤 薫・櫻井厚司・山崎謙太郎・藤江隼平 (神戸大院・農)
「DNA バーコードで同定できるもの、できないもの」
- W092 ○渡辺恭平^{1,2}・西川幸宏³・前藤薫¹
(¹神戸大院・農・昆虫多様性生態学 ²学振DC ³京都工繊大)
「形態形質に基づく昆虫の同定作業の展望、特に X 線 CT のもつ可能性について」
- W093 日本 典秀 (農研機構中央農研)
「農業害虫防除におけるマイクロサテライト DNA マーカーの利用」
- W094 三浦一芸 (近中四農研)
「PCR で薬剤抵抗性個体識別をする方法の紹介」

W10 J会場 (64講義室)

第19回日本ICIPE協会研究報告会：アフリカ昆虫学の夕べ

世話人：足達太郎

- W101 立田晴記 (琉球大・農)
「ゾウムシ求めてマダガスカルへ：分布拡散起源の推定に向けて」
- W102 ○相内大吾 (帯畜大・原虫病研)・石井嶺広 (帯畜大・環境微生物)
「アフリカにおける感染症媒介蚊・貯穀害虫防除の取り組み」
- W103 鈴木紀之 (東北大・生命科学)
「ウガンダ・カリンズの森におけるチョウ類群集の調査」

W11 K会場 (71講義室)

侵略的外来生物問題その6 - 自由貿易拡大に臨む植物防疫法・外来生物法

世話人：五箇公一・浦野知・守屋成一

- W111 五箇公一 (国立環境研究所)
「外来生物法の5年間と環境省による見直し作業開始」
- W112 井上真紀 (国立環境研究所)
「特定外来生物アルゼンチンアリの根絶を目指して」
- W113 佐藤雅 (横浜植防)
「植物検疫における2つのトピックー輸入検疫制度の見直しと新規侵入害虫対策ー」
- W114 西岡一也¹・中村孝久¹・○浦野 知² (¹鹿児島農総セ、²ペコIPMパイロット)
「シナリオを用いた侵入警戒法ー鹿児島県開聞地域におけるイモゾウムシの事例」

W12 L会場 (74講義室)

トノサマバツタの昆虫学

世話人：西出雄大・原野健一

- W121 徳田 誠 (佐大・農)
「トノサマバツタの分子系統と生物地理および寄主特異性」
- W122 田中誠二 (農生研・バツタ研)
「トノサマバツタの昆虫学」

W13 R1会場 (81講義室)

『科学者の良心を考える』：研究におけるミスコンダクトの現状と対策

世話人：菅野紘男

- W131 菅野紘男 (元九州沖縄農研センター)
「研究におけるミスコンダクトについて」

W14 R2会場(83講義室)

昆虫分類学若手懇親会シンポジウム「農業害虫・天敵の隠蔽種問題」

世話人:三田敏治

- W141 田中宏卓(鳥取県立博物館)
「カイガラムシ上科昆虫(Hemiptera: Coccoidea)における広義の隠蔽種の発見事例」
- W142 ○高野俊一郎¹・望月淳²・小西和彦³・高須啓志⁴・中村達⁵
(¹九大・生資環²農環研³北農研⁴九大・農⁵国際農研)
「キムネクロナガハムシには遺伝的, 生態的特性が異なる隠蔽種が存在する」
- W143 三田敏治(東農大・昆虫)
「チャバネアオカメムシ卵を利用する“*Trissolcus nigripedius*”はミナミアオカメムシ卵に寄生するものと別種である(ハチ目:タマゴクロバチ科)」

3日目 3月29日(金)

W15 A会場 (中講堂I)

昆虫病理学への招待：昆虫を操る微生物の生存戦略

世話人：仲井まどか・佐藤令一

- W151 勝間進 (東大院・農)
「ウイルスはいかにして宿主の行動を制御するのか：バキュロウイルスを用いたアプローチ」
- W152 神村学 (生物研)
「緑きょう病菌の脱皮ホルモン不活性化酵素：新たな生理学、発生学研究ツールとしての展開」
- W153 高務淳 (森林総研)
「昆虫ボックスウイルスの戦略パート1：宿主や宿主を取り巻く生物との相互作用」

W16 B会場 (中講堂II)

宿主昆虫の生殖を操作する寄生者達～生殖操作研究の最前線～

世話人：田上陽介・杉本貴史

- W161 陰山大輔 (生物研・昆虫微生物機能研究ユニット)
「ボルバキアは宿主昆虫の性決定をどのようにして覆しているのか」
- W162 ○大手学¹、上山盛夫²、山元大輔¹ (¹東北大院・生命²創価大・工)
「*Wolbachia* 特異的タンパク質 Tom0 による宿主操作の分子機構」
- W163 国見裕久 (農工大院・農)
「チャハマキにおけるオス殺し」

W17 C会場 (31講義室)

界面のエントモミメティクス：嗅覚と接着

世話人：森 直樹・高梨琢磨

- W171 ○光野秀文・櫻井健志・神崎亮平 (東大先端研)
「昆虫の嗅覚受容体を利用した匂いバイオセンサの開発」
- W172 ○細田奈麻絵¹・Stanislav N. Gorb² (¹物材機構 ²Kiel Univ.)
「ハムシの泡を利用した水中接着機構の発見と新しい水中接着技術への応用」

W18 D会場 (41講義室)

ゲノムからみた昆虫の複合適応形質の進化

世話人：嶋田 透

- W181 ○嶋田 透¹・深津武馬² (¹東大・院農²産総研)
「昆虫における複合適応形質進化の解明へのゲノム情報の利用」
- W182 新美 輝幸 (名大・院生命農)
「カブトムシの角形成遺伝子ネットワークの解明をめざして」
- W183 ○黄川田隆洋・Oleg Gusev・Cornette Richard・末次克行 (生物研)
「ネムリユスリカのゲノム解析から見えてきた乾燥無代謝休眠の分子機構」
- W184 新田梢 (九州大・院理)
「送粉適応した協調的な花形質の進化：キスゲ属における遺伝的基盤の解明」
- W185 重信秀治 (基生研・生物機能解析セ)
「Aphids evolved novel secreted proteins for symbiosis with bacterial endosymbiont」

W19 E会場 (42講義室)

深化するガ類性フェロモンの真価 2013

世話人：藤井毅・櫻井健志

- W191 田付貞洋 (東大)
「フェロモン今昔」
- W192 佐藤幸治 (東大・生産研、ERATO 竹内バイオ融合プロジェクト)
「イオンチャネルを基盤とした昆虫の化学感覚受容体とその応用展開」
- W193 関洋一 (東京薬科大・生命科学)
「昆虫脳における匂い情報表現；ラベルドラインと組み合わせコーディング」

W20 H会場 (53講義室)

寄生バチの生態学：適応的な行動の進化

世話人：安部 淳・田上陽介

- W201 羽生和史 (筑波大・生命環境)
「植物揮発性成分を利用したヤドリバエの寄主探索戦略」
- W202 高須賀圭三 (神戸大・農・昆虫多様性、学振 PD)
「クモに寄生するクモヒメバチ類の特異な産卵行動および子殺し」
- W203 安部 淳 (神奈川大・理・生物)
「寄生バチ *Melittobia* の示す極端な雌偏向性比の適応的意義」

W21 I会場 (61講義室)

アリをめぐる生物種間の相互作用

世話人：秋野順治・坂本洋典・萩原康夫

- W211 ○清水加耶・市岡孝朗 (京都大・人環)
「アリ植物オオバギ-アリ共生系と植食性昆虫の相互作用」
- W212 服部 充 (信大院・山岳)
「真社会性アブラムシにおける防衛戦略の包括的理解」

W22 J会場 (64講義室)

昆虫の適応と進化：数種的话题を提供

世話人：中村 達・戒能洋一

W221 田端 純 (農環研)

「マイノリティが世界を救うーハマキガにおける性フェロモン剤に対する
抵抗性の進化ー」

W222 舘 卓司 (九大院・比文)

「ヤドリバエの産卵戦略の進化」

W223 Wolf Blanckenhorn (University of Zurich-Irchel, Zurich, Switzerland)

「Size-dependent insect flight energetics at different sugar supplies」

W23 K会場 (71講義室)

新害虫の発生生態およびその適応戦略

世話人：野村昌史・八瀬順也

W231 大井田 寛 (千葉農林総研)

「施設園芸におけるアザミウマ類及びコナジラミ類の管理とその将来展望」

W232 総合討論

W24 L会場 (74講義室)

“ホントに大事な中腸生物学” – 昆虫中腸研究会のたち上げ –

世話人：竹田真木生・東 政明

W241 竹田 真木生 (神戸大・農学研究科)

「昆虫の中腸機能とその制御」

W242 丸山麻理弥・東 政明 (鳥取大院・連合農学研究科)

「昆虫の排泄・浸透圧調節に関わるアクアポリンー水チャネルの生理的役割」

W243 ○吉永直子・森直樹 (京大・農学)

「昆虫腸管に含まれる脂肪酸アミノ酸縮合物 (FACs) の生理機能」